

## 4. 東部海岸

### 4.1 岩美海岸（陸上地区）

#### 4.1.1 概要

図 4.1.1、図 4.1.2 に岩美海岸（陸上地区）の空中写真および現地写真を示す。

陸上地区は、羽尾海水浴場、東浜海水浴場から成り、東浜海水浴場の西側には潜り突堤が整備されている。平成 29 年度にサンドパック工法が試験施工されている。



図 4.1.1 岩美海岸（陸上地区）の航空写真（2018 年撮影）と現地写真（2020 年 9 月撮影）



図 4.1.2 岩美海岸（陸上地区）の斜め写真（2019 年 5 月撮影）

#### 4.1.2 土砂投入量実績

図 4.1.3 に、岩美海岸（陸上地区）における土砂投入状況を示す。

岩美海岸（陸上地区）では、海岸の東西端で土砂を採取して、潜り突堤の東側に土砂が投入されている。

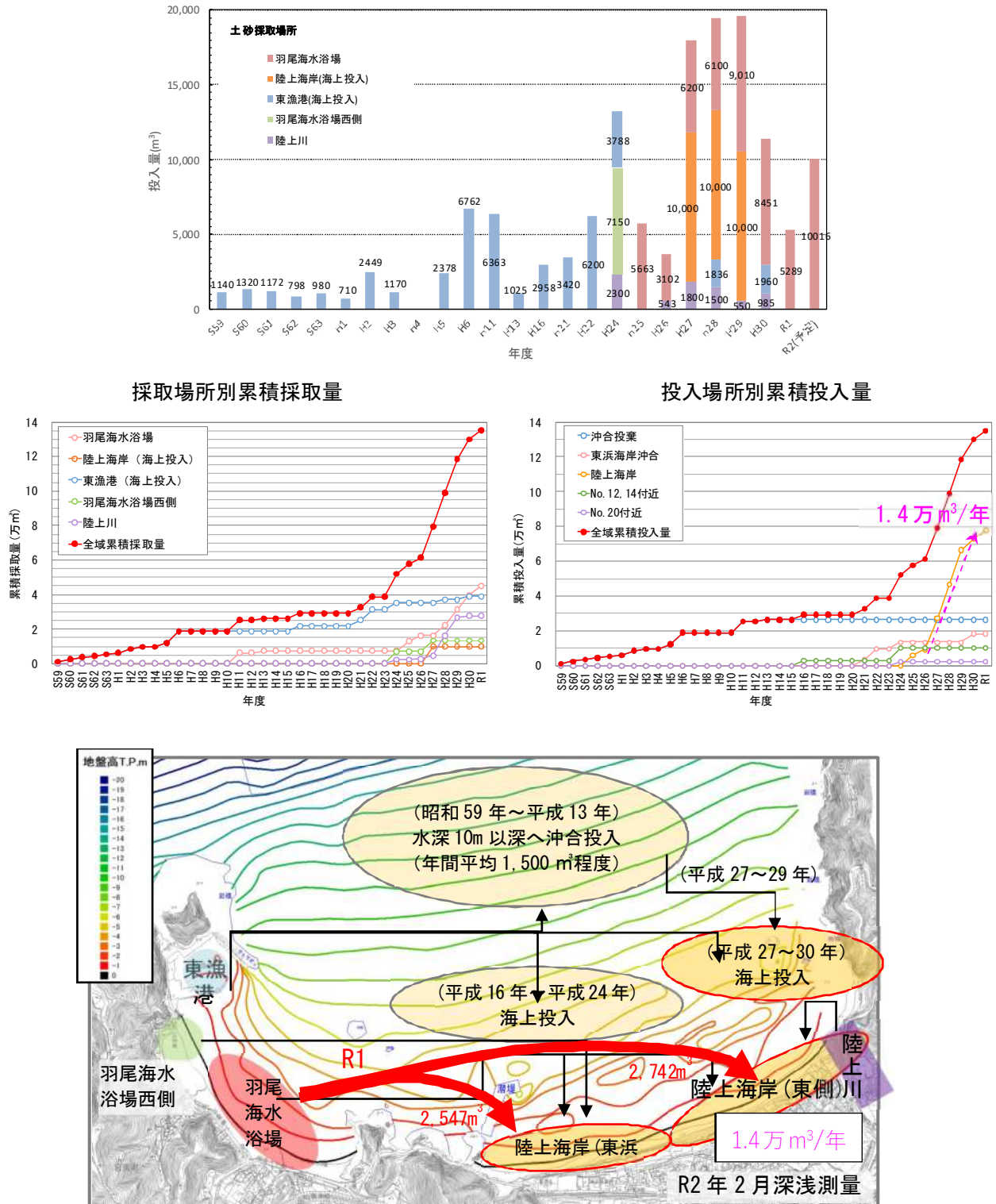


図 4.1.3 岩美海岸（陸上地区）における土砂投入状況

### 4.1.3 サンドリサイクル効果分析

#### (1) 水深分布

図 4.1.4 に、直近 3 回分の等深線図と測量期間毎の水深差分図を示す。

2019 年 3 月から 2019 年 9 月にかけては、潜り突堤先端および陸上川の沖合で侵食が発生している。2019 年 9 月から 2020 年 2 月にかけては、潜り突堤先端から水深 4m の等深線に沿って侵食が発生している。また、その岸側で若干の堆積、さらにその岸側で侵食が交互に発生している。

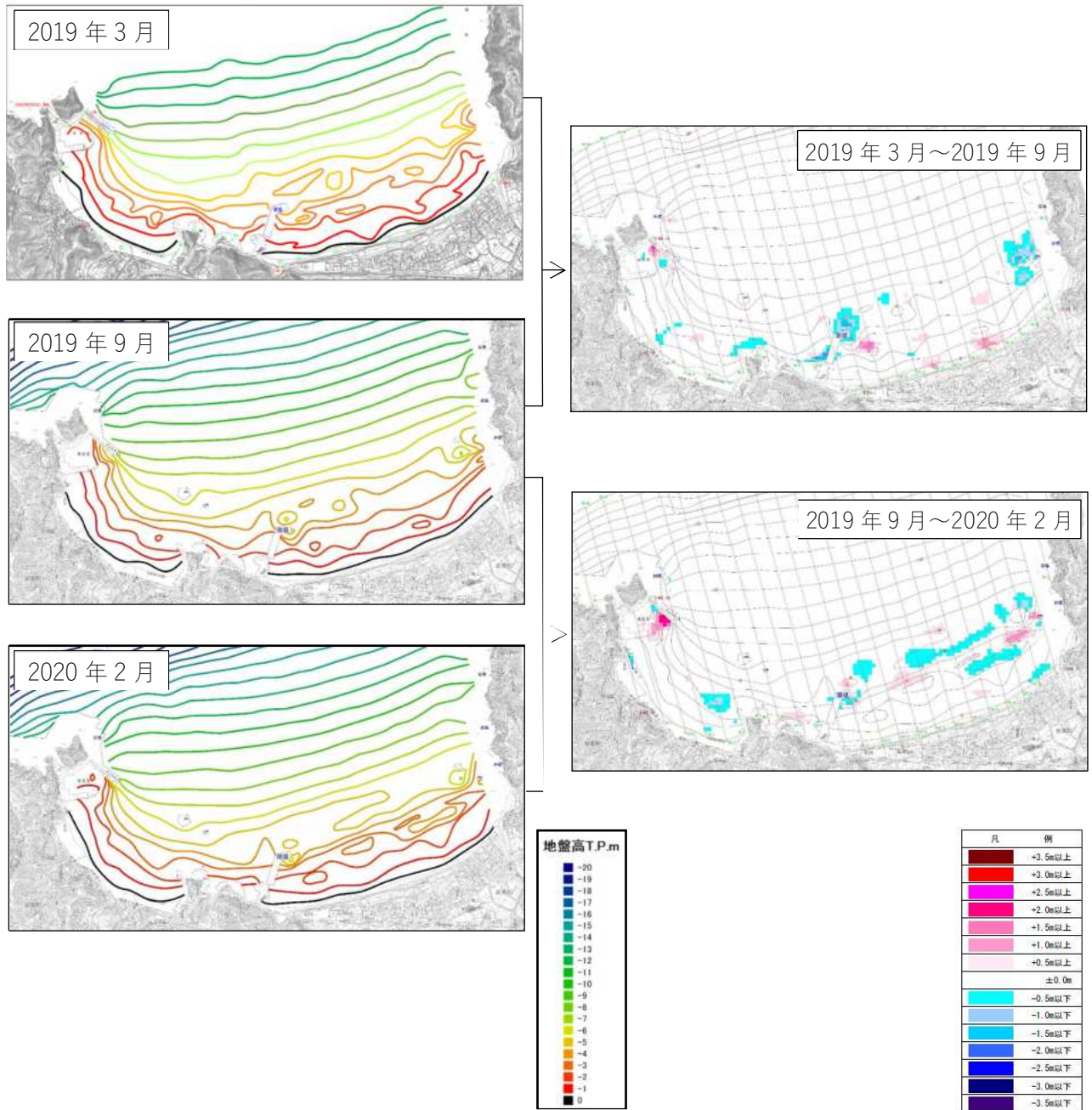


図 4.1.4 2019 年 3 月、2019 年 9 月、2020 年 2 月の等深線図と測量期間毎の水深変化分布

---

## (2) 汀線変化分析

### 1) 長期的な汀線変化

平成 18 年 9 月測量、平成 20 年 3 月測量を基準とした直近 4 カ年の汀線変化図を図 4.1.5、図 4.1.6 に示す。局所的な変動はみられるが、継続的にサンドリサイクルを実施しているため、汀線は安定している。

### 2) 短期的な汀線変化

直近 4 カ年における春から秋、秋から春の汀線変化図を図 4.1.7、図 4.1.8 に示す。サンドリサイクルにより汀線位置は概ね維持されている。



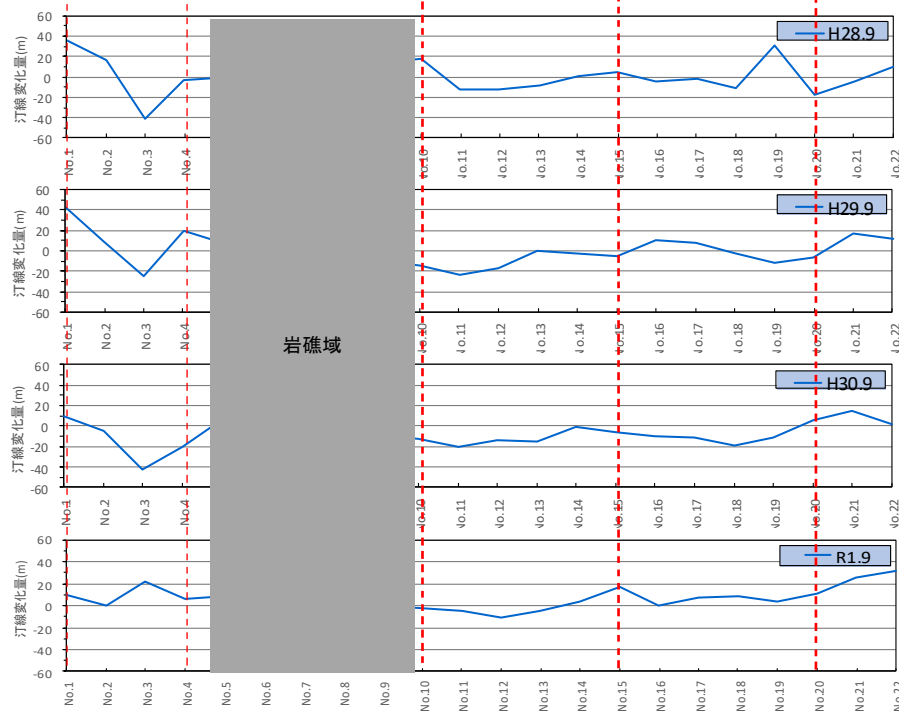
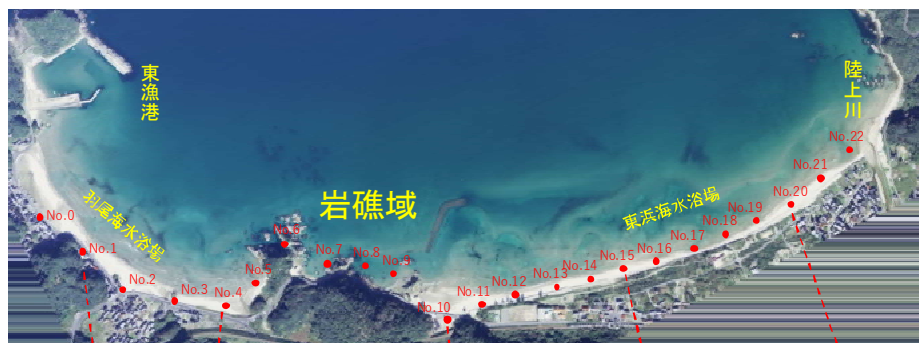


図 4.1.5 岩美海岸（陸上地区）の近年の訂線変化図（平成 18 年 9 月基準）

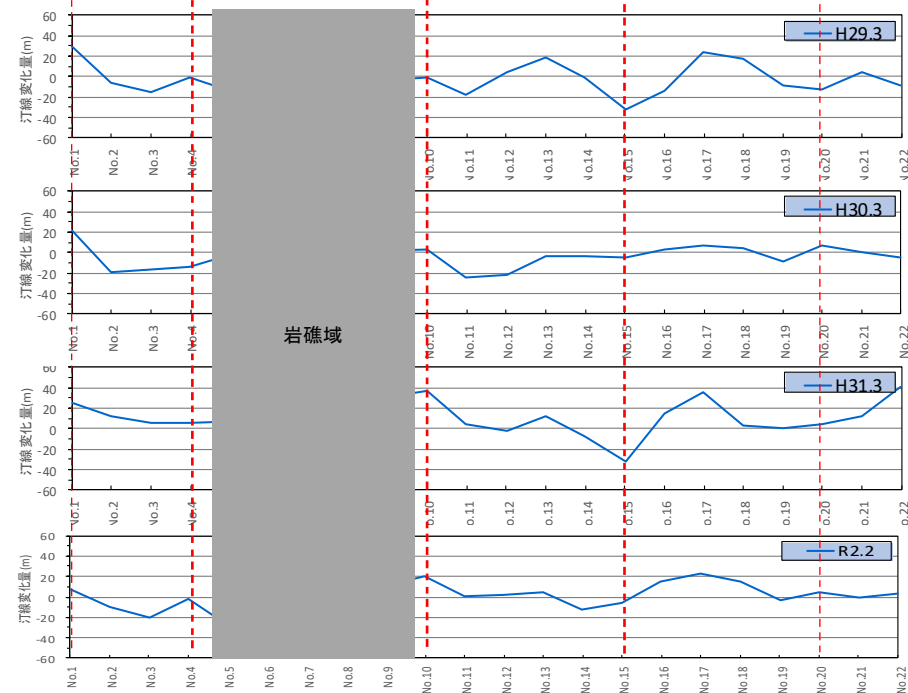
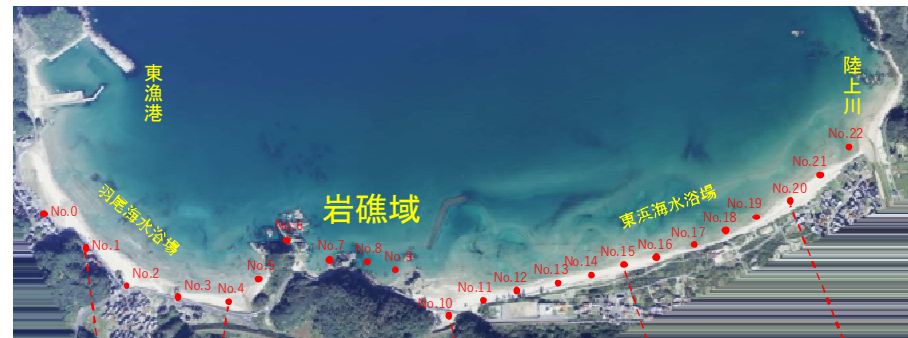


図 4.1.6 岩美海岸（陸上地区）の近年の訂線変化図（平成 20 年 3 月基準）

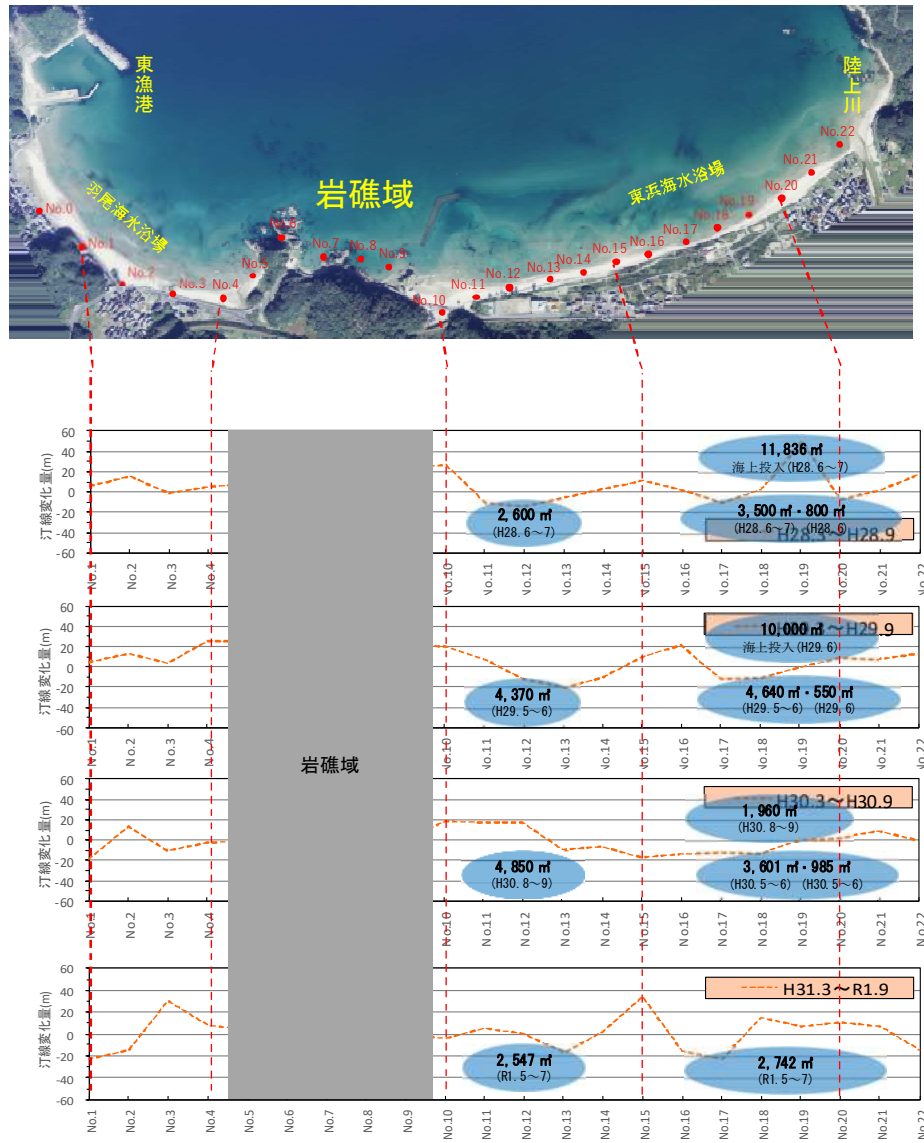


図 4.1.7 岩美海岸（陸上地区）の近年の汀線変化図（春から秋の変化量：1年毎）

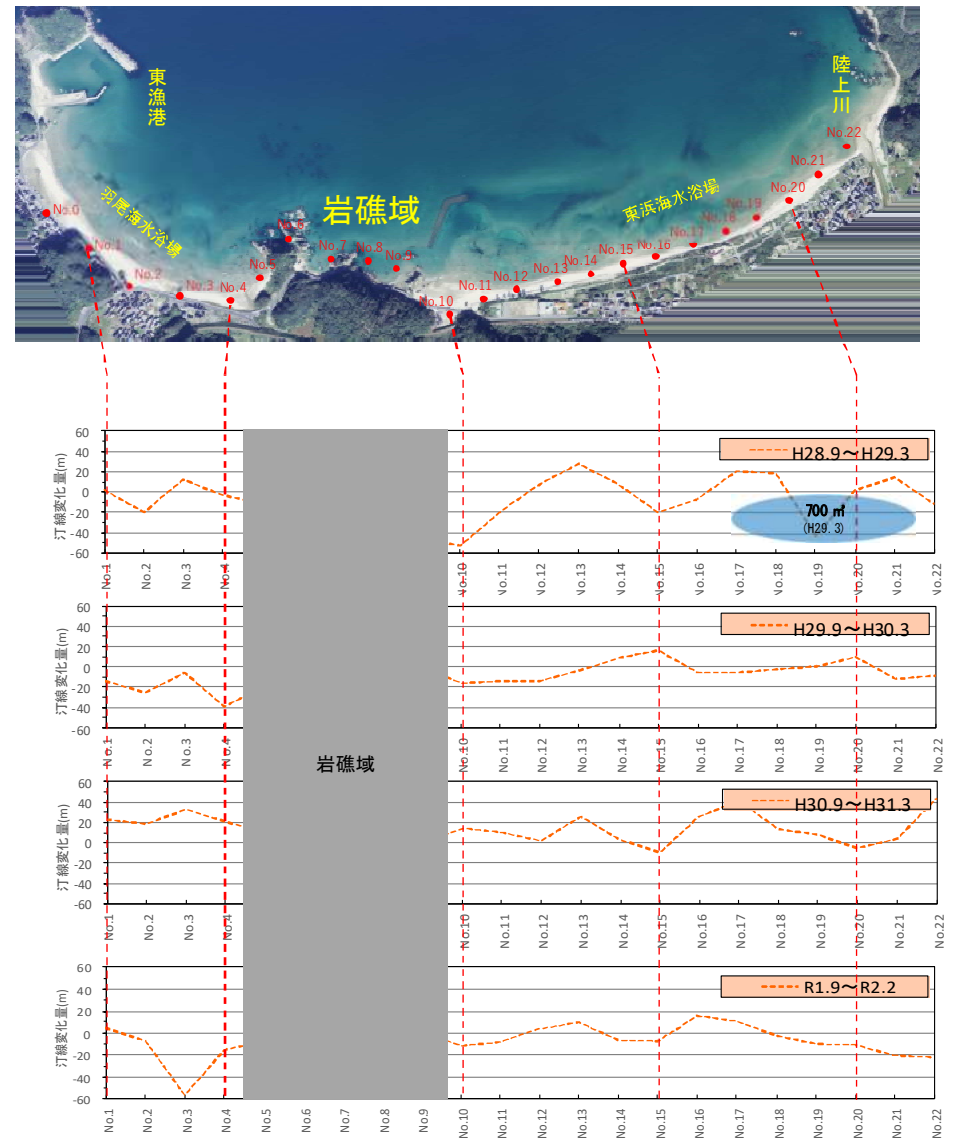


図 4.1.8 岩美海岸（陸上地区）の近年の汀線変化図（秋から春の変化量：1年毎）

③ 浜幅分析

各海岸の浜幅は、図 4.1.9 に示す浜幅基準の考え方に基づき分析を行った。

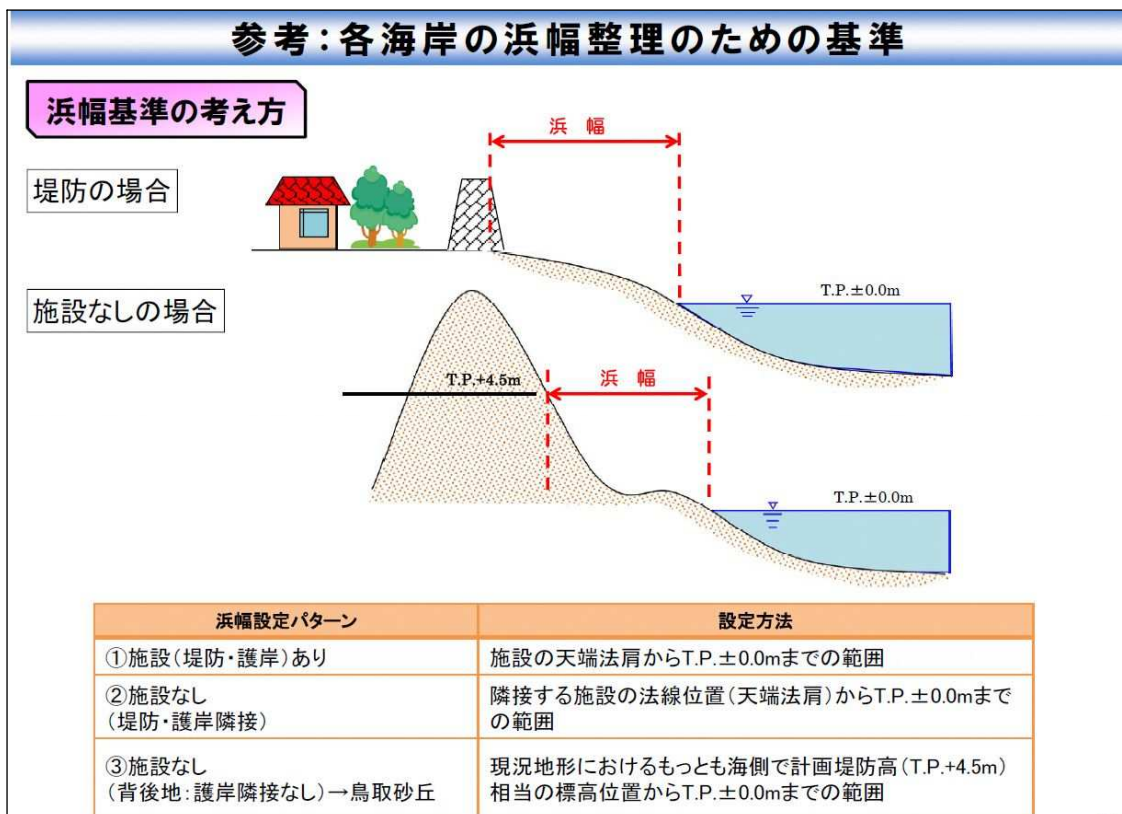


図 4.1.9 浜幅基準の考え方

図 4.1.10 は、直近 4 回分の測量データに基づいて算出した浜幅と、利用面（40m）、防護面（25m）の目安となる浜幅を比較したものである。令和元年度は、防護面の目標浜幅（25m）は確保されているが、局所的に汀線が後退する箇所がみられる。東浜海水浴場については、利用面の目標浜幅（40m）に対して一時的な後退がみられる。

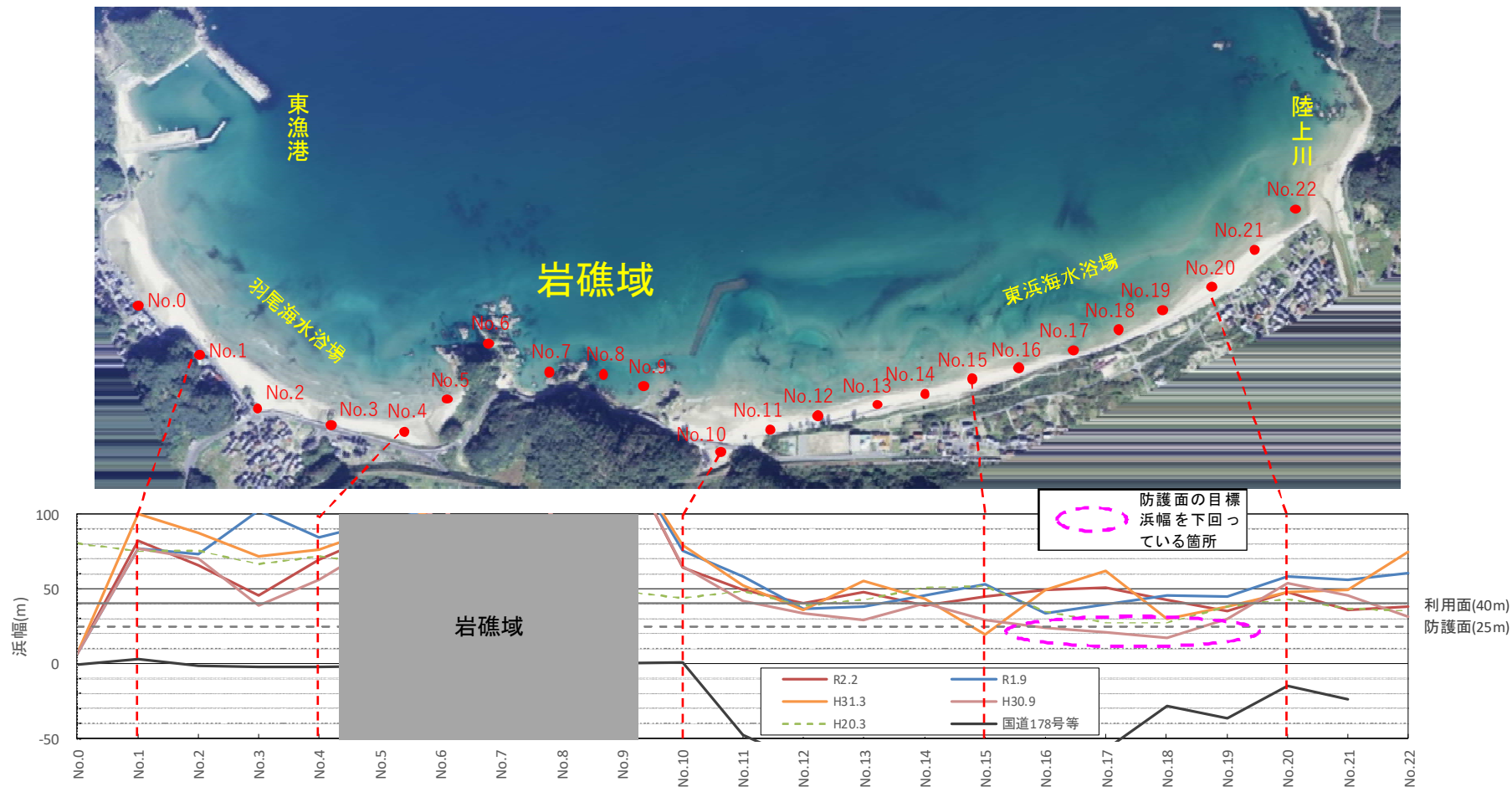


図 4.1.10 利用面、防護面の目安とする浜幅との比較



#### 〔4〕 今後のサンドリサイクル方策の方向性

岩美海岸（陸上地区）の変化の状況（長期、短期）、浜幅の状況、対策実施状況を表 4.1.1 に示す。表 4.1.1 より、当該海岸における今後のサンドリサイクル方策の方向性を以下に示す。

- ・サンドリサイクルにより汀線は概ね維持されていることから、引き続きサンドリサイクルを行いつつ、経過観察を行う。
- ・防護面において局所的に汀線の後退傾向箇所が見られるため、当該箇所においては今後の動向を注視する。

表 4.1.1 岩美海岸（陸上地区）の変化、浜幅、対策実施の状況

海岸	岩美海岸（陸上地区）
変化の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■長期的変化（H19～R2 年度） <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的にサンドリサイクルを実施しているため、安定している。</li> </ul> </li> <li>■短期的変化（H31～R2 年度） <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンドリサイクルにより、汀線位置は概ね維持されている。</li> <li>・冬季風浪により浜崖が発生している。</li> </ul> </li> </ul>
浜幅の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用面（40m） <ul style="list-style-type: none"> <li>・東浜海水浴場については、目標とする浜幅（40m）に対して一時的な減少が見られるため、海水浴時期には注視する必要がある。</li> </ul> </li> <li>■防護面（25m） <ul style="list-style-type: none"> <li>・R1 年度は目標とする浜幅（25m）が確保されているが、局所的に汀線の後退傾向の箇所が見られる。</li> </ul> </li> </ul>
対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>■過年度（H19～R1 年度） <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンドリサイクル 年平均（H21～R1 年度）9,622 m<sup>3</sup>、R1 年度 5,289 m<sup>3</sup></li> <li>・海上養浜工（H27～H29 年度、移動限界水深以深より運搬）</li> <li>・サンドバック（試験施工、H29 年度）</li> </ul> </li> <li>■本年度（R2 年度） <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンドリサイクル</li> <li>・サンドバック本施工</li> </ul> </li> <li>■来年度（R3 年度）予定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンドリサイクル</li> <li>・サンドバック本施工</li> </ul> </li> </ul>